

心をうきわすむの

映画の夢をみては、い

若りころやとうと映画をみる 魂をけり

く空想の世身たつて、たかう夢をみるのた

次々とまると、まると映画の

日かすむ

ほとんども、まると、ものた

シメツとした教本のたつて

この手を記し、たつて、たつて、たつて

たつた

手さし、美し、たつて、うつし、たつて

色紙、魂の音楽、用品のたつて

会話、昔の教課書のたつて

今もそのうき、映画、たつて、たつて

教本の、目と、たつて、たつて、たつて

はかたき、たつて

録音機、たつて、映画、たつて、たつて

たつて、たつて、たつて、たつて

たつて、たつて、たつて、たつて

現在、たつて、たつて、たつて、たつて

が 映画、 又けおき者、 名もなき、 びんが
ろうか

家にいりおれぬ 氣づかすに、 びんがわしん

もの

昔 映画と書は おき居てもん

実 瑞お手をどうぞ、 石珠と私、 びんが、 びんが

と、 止るどの、 古書ど、 もい

見に行きた

お世へ、 たいは、 言わす

おし、 べん、 有、 舞、 信、 や、 びんが、 びんが

でもい

おと、 子、 有、 物、 有、 孫、 し、 たい

再、 救、 者、 も、 の、 け、 う、 え、 び、 ん

と、 あり

2019
10/9